



## 環境経営レポート 第17版 令和5年7月1日発行



寺山から薩摩川内市を望む

令和3年（令和3年9月～令和4年8月 実績）

### 有限会社 庵地衛生センター

本社：鹿児島県薩摩川内市白和町9-8

事業所：鹿児島県薩摩川内市田崎町103

## 目 次

1・企業理念・環境経営方針	3
2・会社概要	4
3・事業の概要	4～5
4・車両保有状況	6
5・エコアクション21 実施体制表	7～8
6・環境目標・負荷の実績及び結果	9～10
7・環境活動計画及び取り組み状況・判定	11
8・次年度の環境活動計画	12
9・環境関連法規の遵守状況・違法・訴訟など	13
10・その他の取り組みや地域貢献活動	13
(外部コミュニケーション)	
11・マネジメントレビュー	13

## 有限会社 庵地衛生センター

### (環境理念)

有限会社庵地衛生センターは、地球温暖化防止の観点から、当社の事業内容を通して、環境への保全を考え、環境負荷の低減、改善に社員一人一人が主体的に行動し、成果を達成し続けることを基本理念とします。

### (環境経営方針)

当社は環境経営理念追求の為、環境保全への行動方針として下記の項目を継続して実施します。

- 1、 環境負荷軽減のための適切な環境活動を定め、継続的改善を行います。
- 2、 環境関連の法律、条例、要項等々を遵守する。
- 3、 「環境の保全を考える」を実践すべく、以下の項目に対して環境目標を設定して取り組み、必要があれば見直しを行う。
  - ① 省エネルギーへの取り組み。(燃料使用量・電力使用量・低公害車導入)
  - ② 省資源 (水資源使用量)。
  - ③ 廃棄物の収集運搬に関して、環境の影響に配慮する。
  - ④ 事業所内・外において5S活動を推進し、清掃活動とあいさつで地域とコミュニケーションをとるように努める。
- 4、 通常運転時のみならず、事故発生時による緊急事態を含め、従業員の役割と責任範囲を明確にした対応マニュアル等を整備し、常日頃から危機管理意識を徹底しておく。

平成16年10月 1日 制定

平成30年 10月 1日 改訂

鹿児島県薩摩川内市白和町9-8

有限会社 庵地衛生センター

代表取締役 庵地 義紘

## 2・会社概要

事業者名：有限会社 庵地衛生センター

所在地：本社 鹿児島県薩摩川内市白和町9-8

事業所 鹿児島県薩摩川内市田崎町103

役員：代表取締役 庵地 義紘

常務取締役 武中 淳孝

常務取締役 武中 直子

取締役 庵地 法子

連絡先：本社 TEL 0996-22-2983 FAX 0996-22-2952

事業所 TEL 0996-25-2846 FAX0996-25-2604

設立：昭和29年 11月

資本金：300万円

事業年度：期首 9月1日 期末 8月31日

事業内容：し尿収集業、浄化槽維持管理業務、産業廃棄物収集運搬業務

汚水管路テレビカメラ業務、排水構造物清掃業務、産業洗浄業務

## 3・事業概要

本社においては、経理業務、お客様対応が主な仕事になり、田崎事業所では、管理業務全般、顧客情報管理をするとともに、浄化槽維持管理車両、産業特殊車両、し尿・浄化槽汚泥収集運搬車両の車庫になっています。

(許可の一覧)

1次チェック管理：本社経理 2次チェック野村大輔

	許可の種類	許可権者	許可番号	許可年月日	有効年月日	チェック年月
1	浄化槽清掃業	薩摩川内市長	浄化槽清掃業 薩摩川内市許可番号第1号	令和4年 4/1	令和6年 3/31	令和5年 10/1
2	鹿児島県浄化槽保守点検業者登録 (汚水処理施設維持管理業務)	鹿児島県知事	鹿児島県知事 第03-06号	令和5年 6/1	令和10年 5/31	令和8年 10/1
3	一般廃棄物処理業 し尿浄化槽汚泥収集運搬	薩摩川内市長	一般廃棄物処理業 薩摩川内市許可第1号	令和4年 4/1	令和6年 3/31	令和5年 10/1
4	産業廃棄物収集運搬業	鹿児島県知事	04600005325号	令和5年 7/6	令和10年 7/5	令和8年 10/1

(産業廃棄物収集運搬業の事業範囲)

廃プラスチック類、ゴム屑、金属屑、ガラス屑、コンクリート屑及び陶磁器屑、瓦礫類、燃殻、汚泥(有機性のもの及び無機性の建設工事に関わるものに限る)廃油、廃酸(アルコール発酵廃液に限る)廃アルカリ、紙屑、木屑、繊維屑、動植物性残さ、動物の糞尿 以上15種類

(特別管理産業廃棄物であるものを除く)

廃棄物処理費用：種類・性状・運搬距離に応じ個別見積もり

(会社規模)

床面積 (㎡) : 本社 340.29 田崎事業所 1,703.41 田崎新社屋 1,300.2  
合計 3,343.9

【売上高の記載区分】

売上高区分 A:5 億円未満

売上高区分 B:5 億円以上 10 億円未満

売上高区分 C:10 億円以上

【売上高区分 : B】

売上高の公表はしていません。

(事業規模)

項目	単位	R1年	R2年	R3年
し尿取扱件数 (前年比)	%	-0.7%	-0.2%	-0.1%
浄化槽基数 (前年比)	%	+0.5%	+0.2%	+0.5%
受託した一般廃棄物	t	48,000.3	49,200	46,100
受託した産業廃棄物	t	612.632	646.250	74,064
売上高 (前年比)	%	+0.1	+0.15	+0.15
従業員数	人	49	47	47
人口構成・薩摩川内市	万人	9.3	9.2	9.2

\*売上高については当社判断により、上記区分及び前年比のみ記載するものとする。

人口構成は、薩摩川内市ホームページ (統計データ・住民基本台帳人口) より抜粋

(業務フロー)

① し尿汲み取り

お客様 → 本社へ汲み取り依頼 → 地域別汲み取り → 汚泥再生処理センター

② 浄化槽清掃

浄化槽清掃月の連絡 → お客様

清掃日：汚泥収集運搬・清掃業務 → 汚泥再生処理センター

③ 産業廃棄物

自治会・店舗・企業 → 見積もり・契約 → 収集運搬 → 中間処理施設でリサイクル

#### 4・車両保有状況

区分	車種	種別	保有台数 計	内排ガス規制車	環境配慮車両
一般収集部門	バキューム車	2トン	1台		
		3トン	2台	1台	
		4トン	2台	2台	
		10トン			
浄化槽清掃部門	バキューム車	3トン	1台	1台	
		4トン	7台	5台	
		5トン	1台	1台	
		7トン	1台		
		10トン	3台	1台	
浄化槽点検部門	点検車	軽バン	22台	9台	
		普通バン	1台		
特殊作業部門	強力吸引車	4トン	1台		
		8トン	2台	1台	
	高圧洗浄車	4トン	2台		
	産廃運搬用ダンプ	10トン	1台	1台	
	下水道カメラ車	2トン	1台	1台	
	ユニック車	4トン	1台	1台	
運搬用車両		軽トラック	1台		
		2トンダンプ	1台		
営業車両		普通車	4台		3台
		合計	55台	23台	3台

各車両の燃費は、毎月車両管理報告書として各自記入して提出している。オイル交換やタイヤ交換の時期を自分で管理して事故を未然に防ぐのに役立っている。

各車両のグリスアップ、真空ポンプ部などの個人整備できる部分についても車両管理表に記入することとし、車両の洗車も可能な限り帰社後車庫に入れる前に実施している。

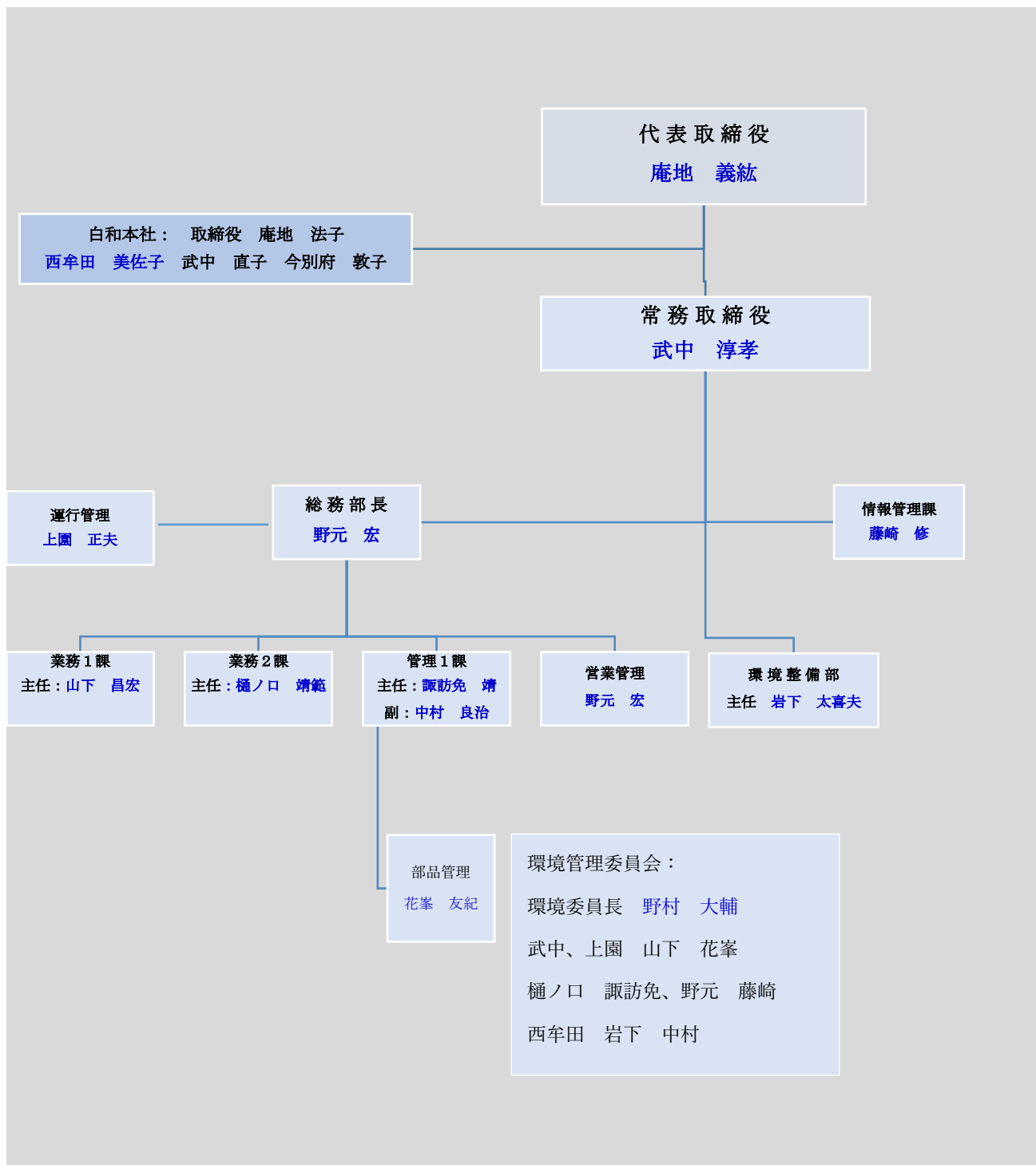
高圧洗車機を導入し、洗車にかかる時間を短くし現場作業をより丁寧に実施する。温水での洗車も可能で汚れを落とすようにしている。

自社の備品を大切に使うことを意識する為に、ちょっとしたことでも記載し、すばやく報告することを徹底している。経年劣化、燃費が悪くなったとき交換を検討している。

## 5・社内組織図およびエコアクション2.1 実施体制

社内組織図

名前の青色が環境管理委員



## 環境管理委員会

環境管理委員長連絡先 : 責任者 野村 大輔 [anchieisei002@clock.ocn.ne.jp](mailto:anchieisei002@clock.ocn.ne.jp)

連絡先 有限会社庵地衛生センター 田崎事業所

電話 : 0996-25-2846 FAX 0996-25-2604

各環境管理委員の役割 :

代表取締役 : 環境方針の決定、環境管理者の任命、活動の見直し

環境管理責任者 : 環境経営システムの継続的運用の実施、環境活動レポート作成

野元-コピー用紙・消毒剤発注・在庫管理等、限元-給油券の発行・管理・記録

上園-運行管理・アルコール検査・車両整備・法律の遵守指導

花峯-部品管理・在庫管理・購入先の選定・薬品管理、野元-営業管理

山下・諏訪免・樋ノロ-効率的な人員配置・作業実績管理・把握・指導

西牟田-白和事務所関連とりまとめ

環境管理会議 : 環境活動計画の報告及び効果測定、環境訓練の実施・報告





## 6・環境目標

令和3年取組みの実績

令和3年度	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
電気(本社・事業所) kWh	2179	1662	406	1490	1499	1706	1110	404	361	719	2132	2411	16,139
ガソリン(本社・事業所) L	2280	1825	2029	1726	1838	1842	1659	1594	1647	1945	2103	1928	22,416
軽油 L	9335	8608	8254	10237	8088	8114	10323	8599	8390	9593	9947	7611	107,099
ガス m <sup>3</sup>	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
水道 m <sup>3</sup>	0	83	0	79	0	80	0	70	0	75	0	88	475
地下水 m <sup>3</sup>	9	9	10	8	9	9	11	9	8	8	7	9	106
焼却廃棄物(kg)	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	660
廃油(L)	250	300	300	0	200	0	400	300	0	650	0	300	2600

項目	基準値	環境目標 ( ) は基準値からの削減率			
	平29年	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年
二酸化炭素排出量 kg-CO <sub>2</sub> /人・年	7,314 (基準年値/47人・年)	7,241 (-1%)	7,168 (-2%)	7,095 (-3%)	7,021 (-4%)
水資源投入量 m <sup>3</sup> /人・年	8.7 (基準年値/47人・年)	8.6 (-1%)	8.5 (-2%)	8.4 (-3%)	8.4 (-4%)
地下水投入量 m <sup>3</sup> /人・年	5.9 (基準年値/47人・年)	5.8 (-1%)	5.8 (-2%)	5.7 (-3%)	5.7 (-4%)
廃棄物排出量 kg/人・年	33.4 (基準年値/47人・年)	33.1 (-1%)	32.7 (-2%)	32.4 (-3%)	32.1 (-4%)
廃油 (ℓ×0.9/人・年)	46.9 (基準年値/47人・年)	—	—	46.4 (-1%)	46.0 (-2%)

注：電力の二酸化炭素調整後排出係数は、2019年度版九州電力の値(0.370kg-CO<sub>2</sub>/kwh)を適用。

：基準年から5年が経過しているので中長期目標を立てる上で直近である29年度を基準に変更。

- ・今まで売上高あたりによる数値であったものを、人・年で計算してみることにした。
- ・今回より田崎事業所で発生する廃油(エンジンオイルの交換等で発生)を計上しました。

安全に関する部分で、ある程度の量は発生する為、削減が出来るのかどうかは今後の検討課題です。

(令和3年 取り組み結果)

環境負荷項目	基準値 (29年)	目標値	実績値	率増減	判定
二酸化炭素排出量 t-co <sup>2</sup>	343,745		334,298	-2.7%	○
t-co <sup>2</sup> /人・年	7,314	7,021	6,822		
水資源投入量 m <sup>3</sup>	410		475	+15.9%	×
m <sup>3</sup> /人・年	8.7	8.4	9.7		
地下水投入量 m <sup>3</sup>	278		106	-61.9%	○
m <sup>3</sup> /人・年	5.9	5.7	2.2		
一般廃棄物排出量	1570		730	-49.0%	○
kg/人・年	33.4	32.1	15.5		
廃油 ℓ	2450		2600	+6.1%	×
(ℓ×0.9/人・年)	46.9	51.09	53.1		

(+5%以内で△ +5%以上で×)

判定：○＝達成できている △＝ほぼ達成できている ×＝達成できていない

以前は年間売上高による排出量を算出していたが、従業員数による一日の排出量で年間を算出することにした。実績率は基準年から見た取り組み年の値の増減を確認しやすくする為に表記した。

廃油の排出量を設定した。以前はグリストラップ汚泥等を計算していたが自社の排出ではないことから、みなおしをおこなった。定期的な自社でのオイル交換を行い安全に業務を行っていきたい。

(化学物質)

ダイアジノンという殺虫剤は、浄化槽内の害虫駆除に使用しています。

ダイアジノンの各現場における使用量の把握及び数量を規定することは難しく年間の購入量を把握することとする。ただし、前年に比べ大きく変動した時は状況を確認し変動がないように努めることとする。

	化学物質を含む製品名	購入量 (Kg)		備考欄
平成30年度	ダイアジノン	74		殺虫剤として使用
令和1年度	ダイアジノン	74		殺虫剤として使用
令和2年度	ダイアジノン	74		殺虫剤として使用

## 7・環境活動計画及び取り組み状況・判定

環境活動計画の実施状況を環境管理委員会で意見を出して、判定しました。

項目	活動内容	実施状況判定		
		業務I課	業務II課	水質管理
二酸化炭素総排出量	燃費の推移を把握する。	○	○	○
	ゆっくり加速	○	△	○
	前日のルート確認	○	○	△
水資源投入量	洗濯物は汚れを落としてから入れる。	○	○	△
	洗車の頻度に気をつける。	○	○	○
廃棄物発生量	ゴミ捨て場所をきれいにして、まめに処分する。	△	△	△
	印刷、コピーはプレビュー確認する。	○	○	○
	無駄に消費しない	△	○	○
外部コミュニケーション	笑顔で気持ちよく対応する。	○	○	○
	素早い対応	○	○	○
化学物質使用量	殺虫剤は適量を使用する。	○	△	△
	こぼれないように補充する。	△	△	△

### <取り組み状況の評価>

車両の運転で、多くは無いが市民から指摘を受けるときがある。安全運転には特に留意しなければならない。また不必要なものを乗せているときがあるので常に整理を心がける。廃棄物については、分別できていない時があり社内用タブレットの使い方を周知している。

油がついた廃棄物も適切に処理するように声かけをしている。

空き缶やペットボトル回収用の容器に家庭ごみがみられる。各家庭で処分するように注意を促した。



## 8・次年度の環境活動計画

二酸化炭素総排出量：燃費の推移を把握する。

ゆっくり加速！

車の荷物を整理する（軽量にする）

水資源投入量：洗濯物は一度水洗い（地下水使用）してから入れる。

洗車の頻度に気を付ける。

廃棄物発生量：ゴミ捨ての場所を綺麗にして、まめに処分する。

印刷・コピーはプレビュー確認する

無駄に消費しない。

化学物質使用量：殺虫剤は適量を使用する。

こぼれないように補充する

外部コミュニケーション：笑顔で気持ち良く対応する。

素早い対応

## 9・環境関連法規の遵守状況・違法・訴訟など

違反・指摘・訴訟など3年間1件もありませんでした

## 10・その他の取り組みや地域貢献活動（外部コミュニケーション）

- ・草刈り活動（自治会依頼）
- ・排水溝清掃



## 11・マネジメントレビュー評価

年度ごとにある入札等において資格要件に必要なことがあり、エコアクションを適正に維持することが必要。いまだ収まらないコロナ禍の中でエコとの両立は厳しいと感じてはいるが出来る範囲でやっていく。しっかりと人材を確保し、質の高いサービスを提供していきけるように努力する。安全運転が責務であり事故ゼロを徹底したい。昨年度より保険会社と連携しタブレットによる安全教育を取り入れている。効果を見極めていきたいと思う。